

陳情第1号 私立高校生の父母負担を軽減し、
学費負担の公私格差を是正するために東郷町
独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書

討論

賛成討論 國府田さとみ 議員

人はそもそも多様であり、従ってそれぞれの価値観は多様であることに他ならない。そうした認識が広がりつつある現代において、当然、教育分野での多様な学びの場とそれを選択できる環境は必然であると言える。だからこそ、私学という学びの受け皿が、公立高校同様の教育の機会均等にあるとは言い難い学費負担の下にある現状は、必ずや是正していかなくてはならない。国をあげての全教育の無償化があるべく姿であり、それを求めると同時に、子ども達、またその保護者の現状に直結した基礎自治体からのアプローチである本町独自の助成拡大は、子ども達の学びを選択する権利の保障に向けての大きな助けになると考え、本陳情に賛成する。